

令和4年度 福岡支部 事業計画(広報部門)の検討について

1. 現状の確認

1. 現状の確認（予算）

令和元年度より、広報・意見発信経費と医療費適正化対策経費を「支部医療費適正化等予算」とし、「支部保健事業予算」と合わせて「支部保険者機能強化予算」と整理された。

「支部医療費適正化等予算」の広報・意見発信経費と医療費適正化対策経費の予算配分は支部の裁量で決定できる。

| | 令和2年度 | | 令和3年度 | | |
|-----------|--|---|--|--|--|
| | 事業内容 | 予算(円) | 事業内容 | 予算(円) | |
| 広報・意見発信経費 | <ul style="list-style-type: none"> ●紙媒体による広報 <ul style="list-style-type: none"> ・事業所向けチラシ(毎月) ・任意継続加入者向けパンフレット ・協会けんぽのしおり ・年金事務所主催算定説明会資料 ・年金事務所主催年金委員研修会資料 ・メールマガジン配信に関する広報チラシ ・社会保険ふくおかへの同封チラシ作成及び同封手数料 ・無資格受診発生の未然防止ポスター ・限度額認定証使用促進のためのポスター ●壁紙新聞コンクール | 8,719,343 | <ul style="list-style-type: none"> ●紙媒体による広報 <ul style="list-style-type: none"> ・事業所向けチラシ(毎月) ・任意継続加入者向けパンフレット ・協会けんぽのサービス一覧 ・年金事務所主催算定説明会資料 ・年金事務所主催年金委員研修会資料 ・メールマガジン配信に関する広報チラシ ・社会保険ふくおかへの同封チラシ作成及び同封手数料 ・無資格受診発生の未然防止ポスター ●かべ新聞コンクール | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">継続</div> | 7,668,430 |
| | 医療費適正化対策経費 | <ul style="list-style-type: none"> ●事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勸奨業務委託 ●福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市との共同によるメンタルヘルス対策セミナー開催 | 8,909,000 341,200 | <ul style="list-style-type: none"> ●事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勸奨業務委託 ●福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市との共同によるメンタルヘルス対策セミナー開催 ●薬剤師会と連携した医薬品適正使用促進事業 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">継続</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">継続</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">継続(R2年度パイロット事業)</div> |
| 合計 | | 25,668,743 | | 31,197,230 | |
| 予算控 | | 31,250,000 | | 31,250,000 | |



令和4年度事業の検討

1. 現状の確認（スケジュール）

< 来年度（令和4年度）保険者機能強化予算にかかる評議会スケジュール >

6月評議会 令和4年度 福岡支部事業計画（うち広報部門）の検討について

7月評議会 令和4年度 福岡支部事業計画（うち医療費適正化部門）の検討について



事務局案の作成

10月評議会 支部保険者機能強化予算（案）の提示



議論を踏まえた修正

1月評議会 支部保険者機能強化予算の承認

2. 第5期アクションプランと 福岡支部の課題を踏まえた 令和4年度事業内容（広報）の検討

2. 保険者機能強化アクションプラン（第5期）を踏まえた支部の広報

【保険者機能強化アクションプラン（第5期）抜粋】

< 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進 >

- ・ 協会けんぽの運営の持続可能性を維持するためには、前提として、協会けんぽの存在意義や取組内容を、加入者・事業主に十分理解していただくことが必要である。
- ・ 協会けんぽは、健保組合のように単一の事業主と従業員という構造になく、また、事業所数が約230万、加入者数が約4千万人と広報の対象が非常に多いため、事業主及び加入者に効果的に情報をお届けすることが必要である。
- ・ このため、「①協会の概要・財政状況」「②申請手続き」「③医療費適正化への取組」とともに、「④健康づくり」を主な広報テーマとし、全支部で広報すべきコンテンツに関する広報資材の標準化やSNS等による効果的な広報手法を検討し、広報ツールを作成する。その上で、ツールを活用し、事業主や加入者等と接する様々なタイミングで広報を行う。
- ・ さらに、加入者に身近な健康保険委員を活用した広報も重要であることから、積極的に委嘱拡大に向けた取組を強化するとともに、健康保険委員活動の活性化を図るための研修や広報誌を通じた情報提供の充実を図る。

支部における広報

- 本部における広報資材の標準化等の動向に留意しつつ、以下のとおり積極的な広報を実施する。
- 「保険料率」、「インセティブ制度」、「コラボヘルス」、「特定健診・特定保健指導」、「ジェネリック医薬品」、「上手な医療のかかり方」、「限度額適用認定証」を重点項目として広報を推進する。
- 健康保険委員の委嘱拡大に向けた取り組みの強化とともに、健康保険委員活動の活性化を図るための研修や広報誌を通じた情報提供の充実を図る。
- マイナンバーカードの健康保険証としての利用促進にかかる広報も引き続き実施する。

3. 福岡支部の課題と令和4年度事業内容の検討

福岡支部の重点課題

- | | | |
|--|--|---|
| <p>○一人当たり医療費（年齢調整後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R元年度：全国6位（H30年度：全国4位） ・特に入院医療費が高い （受診率が高く、1件当たりの日数が高い） ・深夜加算の発生率が高い（H29：全国3位） | <p>○特定健診・特定保健指導の実施率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度実施率（速報値） 特定健診／福岡：51.2% （国によるR5年度目標値：65.0%） 特定保健指導／福岡：14.9% （国によるR5年度目標値：35.0%） | <p>○医療保険制度等に関する加入者理解度 ＜重視したい項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険料率（インセンティブ制度等） ・コラボヘルス（健康宣言） ・健診・保健指導 ・上手な医療のかかり方 |
|--|--|---|

その他、広報・周知が必要な事項

ジェネリック医薬品の使用促進、限度額適用認定証の利用促進、正しい柔道整復のかかり方、交通事故等の第三者行為届の提出、業務災害等には健康保険が使えないこと、資格喪失（退職等）後の医療機関受診の防止

課題を踏まえた
取組内容の検討

令和4年度 事業内容の検討（案）

広報・意見発信

- 医療費適正化のための啓発事業「かべ新聞コンクール」
- 健康保険委員専用ホームページを活用した広報
- 紙媒体による広報
 - ・事業所向けチラシ（納入告知書同封）
 - ・任意継続加入者向けパンフレット
 - ・協会けんぽのサービス一覧
 - ・年金機構主催研修会資料（講師派遣）
 - ・メールマガジン登録勧奨チラシ
 - ・無資格受診発生未然防止ポスター

継続
（拡大）

継続

継続

医療費適正化対策

- 事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勧奨業務
- 福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市等との共同によるメンタルヘルス対策セミナーの開催
- 薬剤師会と連携した医薬品適正使用促進事業

継続

継続

継続

上記は、令和3年度を取り組み内容を掲載

3. 広報・意見発信事業（案）

4. 広報・意見発信事業（案）

案1 医療費適正化のための啓発事業「かべ新聞コンクール」（継続事業）

将来の健康保険制度を担う次世代層の小学5年生及び
中学2年生（福岡県内全域）を対象に、健康や医療費
をテーマとした「かべ新聞コンクール」を実施する。

- 小学5年生は「健康づくり」を主テーマとし、学校
や家族ぐるみで健康について考えるきっかけ作りと
する。
- 中学2年生は、「医療保険制度」や「医療費」を主
テーマとし、制度の持続性確保のために必要な取り
組み（医療費適正化等）について考えるきっかけ作り
とする。
- 教育委員会の後援等をもとに、県内の小・中学校に
広く広報し、応募件数の増加等を図ることで、本事
業の実効性の向上につなげる。

募集対象者：約93,000人

小学5年生：約46,000人

中学2年生：約47,000人

予算規模：1,000万円程度

<第1回 健康かべ新聞コンクール 表紙>



4. 広報・意見発信事業（案）

案2 健康保険委員専用ホームページを活用した広報（継続）

健康保険委員への情報提供の充実化と利便性の向上を図るため、専用ホームページを開設する。

【各種情報提供】

＜紙媒体＞ ⇒ 電子媒体を併せて提供

① 専用広報誌「KENPO'S通信」（5回程度／年）

⇒情報提供の迅速化等

② 協会けんぽのしおり（冊子）（1回／年）

⇒年度途中での制度改正など柔軟に対応等

＜研修会（集合研修）＞ ⇒ 研修会動画を併せて掲載（予定）

③ 健康保険サポーターゼミナール

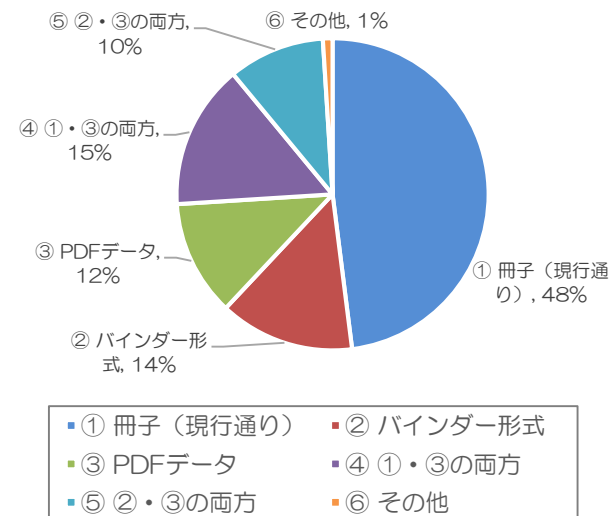
⇒感染症対策となり、受講の利便性も向上

※メンタルヘルス対策セミナー（労働局主催）については、今年度はオンラインでの開催も予定しているが、本ページでの動画掲載は予定していない。

対象者：健康保険委員約8,000人

予算規模：60万円程度

【協会けんぽのしおりの提供方法】（アンケート）



【研修会の実施方法】（アンケート）

